

島根県公共事業再評価 評価結果 (案)

作成日 平成25年5月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (樹状状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト縮減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
6	(事業名・地区) 朝酌川(中川工区) 広域河川改修事業 (事業位置) 松江市 春日町～黒田町 (事業費) 6,485,100千円 (事業概要) 全体延長(改修中) L=1,800m 築堤、掘削、護岸、橋梁 (事業主体の根拠) 河川法第9条2項 (再評価区分) ④再評価実施後5年を経過している継続中の事業 (担当部課名) 土木部河川課	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) 事業採択年度：S62年度 用地着手年度：S62年度 工事着手年度：S62年度 完了予定年度：H34年度 経過年数：27年 (樹状状況と今後の見込み) 進捗率：69% 用地：82% 工事：37% 平成34年度完成予定	(事業導入の経緯・目的) 事業着手前の河川流下能力は1.1m ³ /s(1/1確率以下)という状態であったため、度々浸水被害が発生していた。S47の梅雨前線豪雨による洪水で大きな被害が発生し、抜本的な治水対策を行うために事業に着手することとなった。 S47：床上168戸、床下412戸、浸水面積66ha H18：床上6戸、床下88戸、浸水面積20ha (事業を取り巻く社会情勢) ほぼ毎年浸水被害を蒙っており、再度の災害を防止するため、上流部の住民からは河川改修の早期完成が強く要望されている。また、上流隣地の住宅団地造成ならびに河川周辺の市街地化が進行しており、今後も資産の増加が見込まれる。 (事業に対する地元情勢・計画の熟度) 長期に渡って難航していた最下流部の家屋移転の了解がH19に得られ、H21より下流からの改修に着手しており、沿川住民は事業全体の早期完成を熱望している。	(費用対効果) b/c=29.88 (コスト縮減・代替案等) 事業の実施にあたっては堤防への残土の有効利用等のコスト縮減に努める。 (その他の効果) 氾濫域の下流部は市街化区域であり、家屋が密集しつつある。洪水危険度の低下により、将来的に安全な生活基盤が確保でき、民生の安定が図れる。	(生活環境・自然環境への影響) 河川改修断面は緩やかな盛土法面を有し、改修後は在来植生の回復が見込まれ、多様な生物の生活の場としての環境を損なわない。 (事業を中止した場合の影響) 現在まで下流の一部を除き流下能力の増大は図られておらず、築堤・河床掘削ともに未施工であり、治水機能が大きく不足している。このまま現段階での事業中止では、家屋等への被害を軽減することは困難であり、早急な事業実施が望まれる。 氾濫実績年： S34、39、47、49、61、H1、3、4、5、7、10、18、22	(方針案) 継続 (継続・中止の理由) 下流部から順次上流側へ工事を進める計画であり、あわせてH18.7豪雨で浸水した箇所の被害解消のため、水路への逆流防止施設の設置や暫定築堤を実施している。段階的に施工することにより、早期に治水効果を発揮すべく、適切な年次計画を立て、早急に事業完成を図りたい。

